

# 熔岩洞窟と洞窟の生き物

# 大根島の 熔岩探検

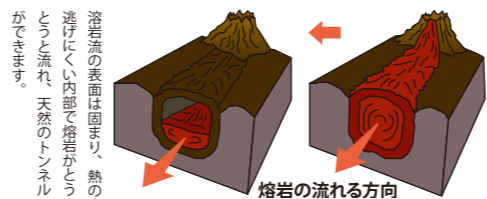


## 大根島の成り立ち

大根島は、火山の島です。地上からは分かりませんが、地下にはモグラの巣のような大小無数の熔岩洞窟が、縦横無尽につながっています。実はこの溶岩洞窟、熔岩が流れた道筋なのです。現在、人間が中に入ることができる熔岩洞窟は、幽鬼洞と竜溪洞のみ。大根島の熔岩洞窟は、国内で2番目に古い歴史を持っています。

今から約20万年前。地球の奥深くに眠っていたマグマが、目を覚まし、高温の場所から噴出したマグマは粘り気が低く、島のあちこちの火口からさらさらと湧き出たと考えられています。熔岩の厚みは70mほど。長い時間をかけて、熔岩は何層にも重なりました。

島の土台を作っているこの熔岩は玄武岩で、俗に島石と呼ばれています。



## 【大塚山】

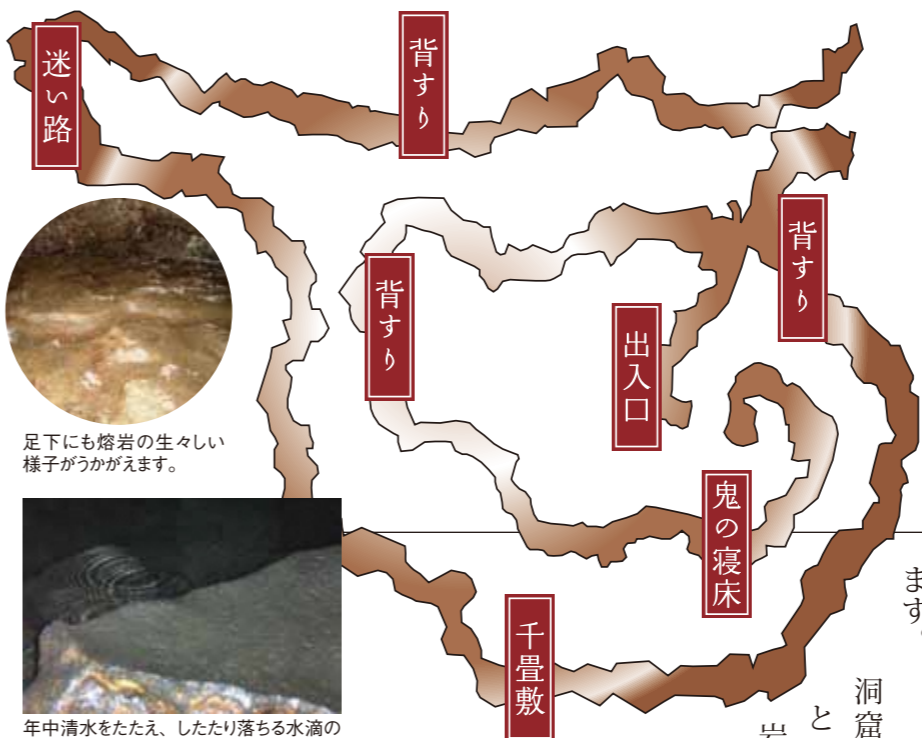
標高およそ42mの大塚山は、日本で最も低い火山の一つ。火口から大量に吹き出したスコリア（玄武岩質の軽石）からできた丘です。



## 国指定特別天然記念物 幽鬼洞

ゆうきどう

一説によると、熔岩流の末端で火山性のガスが抜けてきたといわれている、リング状の熔岩洞窟です。洞窟の真上に民家が建つという、珍しい特別天然記念物です。



洞窟内の温度は年中15℃と一定し、内壁には溶岩が流れた跡があります。

コースはリング状に約100m。入口は、火山性のガスが抜け洞窟の天井が崩落した跡といわれています。



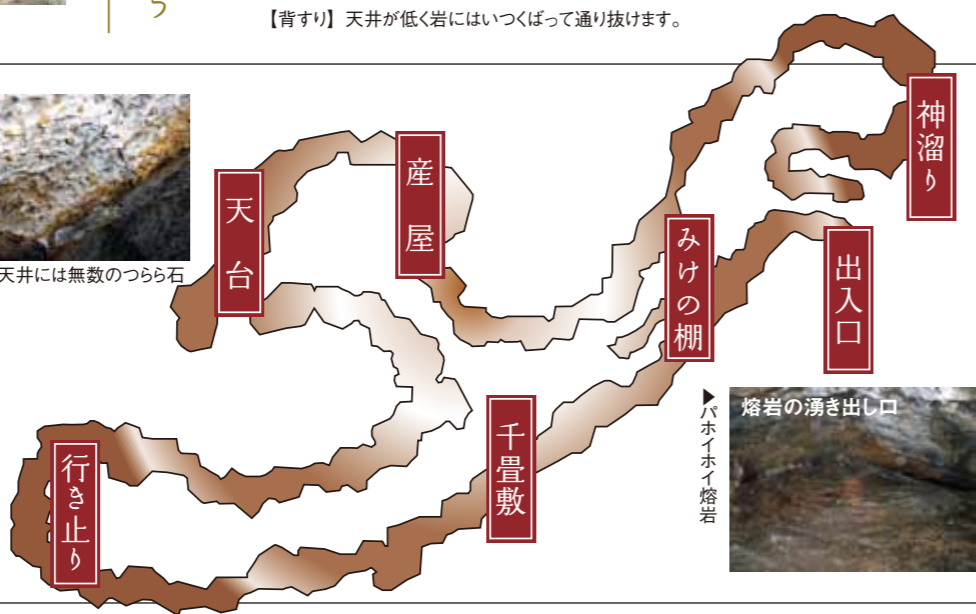
最も狭い「背すり」を抜け、目の前に光の世界が広がると、この世に生まれ出た瞬間を思い出すかもしれません。



## 国指定天然記念物 竜溪洞

洞窟の中で火口の様子が確認できる、世界的にも稀な熔岩洞窟です。

入口右手は、「神溜り」と呼ばれる円形状の空間。この場所が火口です。熔岩の表面に、半円状に縄状の模様ができています。熔岩は「パホイホイ熔岩」と呼ばれ、大根島が陸上噴火でできた証でも



あります。



洞窟は火口から約100m延びています。棚状のくぼみになっている「みけの棚」や「千畳敷」、奥部の小部屋は竜神様がお生まれになった「産屋」で、竜神様の寝床「天台」もあります。「産屋」の天井には無数のつらら石。このつ

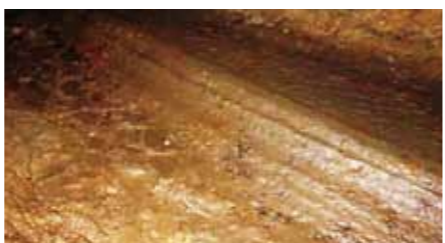
## 世界的にも珍しい 洞窟に暮らす生き物



洞窟内は真っ暗闇。そのため、目が退化した生き物や体色が白い生き物など、洞窟の環境に適応した生き物が生息しています。世界でここにしかない生き物や約5億年前から進化していない生き物などもいます。



つらら石は、熔岩洞窟いっぱいになり、溶岩が充填したあとに流れ去り、天井に付着した熔岩がしったり落ちてできたものです。内壁には溶岩が流れた跡やガスの抜け穴なども確認できます。



●見学ガイドのお申込み・お問い合わせは

八束の遺産を守る会長/島根県自然観察指導員 門脇和也 (かどわきかずなり)  
島根半島・宍道湖中海ジオパーク認定ガイド

☎090-3178-2483

FAX.0852-76-2397

〒690-1403 島根県松江市八束町遅江 1223

長靴・懐中電灯無料で貸し出します。



# 大根島の 熔岩探検



## 波入港親水公園（弁天島）



波入港親水公園

晴天には 中海の向こうに大山が一望できます。また、大山から昇る朝日は素晴らしい眺めです。

熔岩でできた島で、水辺に大きな柱状節理が見られます。

## チュムラス

弁天島の海岸側にはハート形の岩礁がみられます。これは、熔岩の表面は固まっているが、内部はまだ固まっていない状態の時に、新たに熔岩が注入されドーム状に盛



チュムラス

り上がったチュムラスと呼ばれる火山地形が、波によって浸食されたものと考えられています。

## 島石の特徴

島石には、地中から掘り起こされる「山石（陸石）」と、海中から採取される「海石」の2種類があります。山石は、火山灰などの土が付着し赤茶色をしています。海石は玄武岩本来の黒っぽい色をしています。



島石

また、島石には、上・下があります。マグマ中に含まれていた水などが、熔岩が冷えるにつれて火山性のガスとなって上の方に移動し、抜け出たものです。ですから、穴のあいている面が上部になります。

## 由志園の熔岩庭園

ポタンの花と高麗人参の里として知られる由志園には、大根島の特徴である熔岩が楽しめるよう、園内の一角を掘り、土の中から姿を表した岩盤を「熔岩庭園」と名付けて公開しています。

灼熱のマグマを連想させる色合い…。まさに、大自然の生んだ造形芸術。

また、日本庭園では、表面に無数の穴のあいた黒っぽい自然石の石組みや捨て石があります。これらは、島内の家々の土台や庭石にも使われており、島石と呼ばれています。



由志園の熔岩庭園

ます。現在も土を掘れば地表から2mほどのところに眠っています。



春、大根島は熔岩の大地の上に咲く花で賑わいます。ポタンは約300年前、島にある全隆寺の住職が遠州（静岡県）で修業した折に薬用として持ち帰ったのが最初と伝えられています。桜も美しく大塚山山頂ほか随所で見られます。

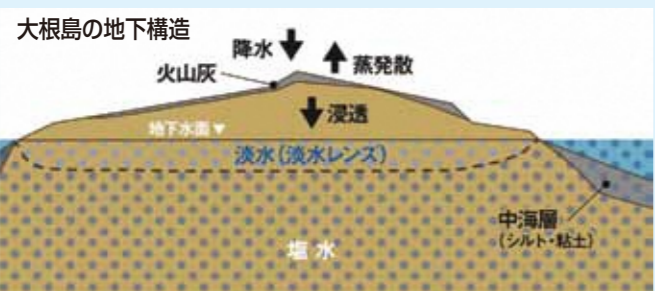
## 淡水レンズ

中海は、海水と淡水が交じる汽水湖です。大根島の地下には、雨が降って大地から浸透した淡水と中海から浸み込んだ汽水があります。風の吹かない地下では、淡水と塩分を含む汽水は分離して、混ざることはありません。汽水は淡水に比べて比重が大きいため、地下では汽水の上に淡水が浮かんでいる状態になっています。淡水が溜まったこの巨大な水瓶は、「淡水レンズ」と呼ばれています。

大根島の中海沿岸は、この淡水レンズの縁にあたり、地下から水が湧き

出している場所が複数あります。

その一つが、波入港にある湧水です。大根島では、川が無いにもかかわらず、湧水をかと呼んでいます。この大根島の地下の様子が由志園にある大根島模型でみる事ができます。



波入の湧水



由志園にある大根島模型



ジオパークでは、地球の貴重な「地質の宝物」と地域の自然・歴史文化・生態系をまもりながら活用して、地域の持続可能な発展を目指す活動をしています。地球を学び丸ごと楽しむことができる場所です。



大山

中海

大根島

大根島は島根半島・宍道湖中海ジオパークのみどころの一つです

